

化学工学会 反応工学部会 反応分離分科会
「反応分離シンポジウム 2018」

【主催】化学工学会反応工学部会「反応分離分科会」

【協賛】物質・材料研究機構（予定）、化学工学会分離プロセス部会「膜工学分科会」、
日本膜学会、分離技術会

【日時】平成 30 年 11 月 16 日（金）13:30 - 19:00（13:00 受付開始）

【会場】物質・材料研究機構（NIMS）千現地区 研究本館第一会議室（玄関ホール入って左側）
305-0047 茨城県つくば市千現 1-2-1
交通：つくば駅下車徒歩 15 分

【概要】反応と分離それぞれの要素技術が高度化しプロセスの効率化が進んだ現在では、反応と分離の二つを有機的に結合させ、さらなる高効率（省エネルギー）化およびコンパクト化を目指した反応分離プロセスの開発が必要となってきます。今年度のシンポジウムは、ガス分離の分野を中心に、一線で活躍される研究者をお招きしました。反応・分離の様々なプロセス・現象を活発に議論できる場になればと考えておりますので、ぜひ多くの方にご参加いただけることを願っております。

【プログラム】

(1) 講演会（13:30～16:15）

13:30 - 13:35 主催者挨拶

大阪大学 西山憲和 氏

13:35 - 13:50 「物質・材料研究機構（NIMS）の紹介」

NIMS 西村睦 氏

13:50 - 14:25 「V 合金膜を用いた水素分離デバイス」

NIMS 西村睦 氏

14:25 - 14:50 「高分子材料の素材研究と分離プロセス」

NIMS 一ノ瀬泉 氏

14:50 - 15:05 コーヒーブレイク

15:05 - 15:40 「マテリアルズインテグレーションに基づくゼオライト結晶構造中 Al 原子位置の予測と制御」

NIMS チャイキッティスィン ワッチャロップ 氏

15:40 - 16:15 「反応分離に向けたシリカ系分離膜の開発」

芝浦工大 野村幹弘 氏

(2) 見学会（16:15 - 17:15）

(3) 技術交流会（17:15 - 19:00）

【定員】50 名

【参加費】

化学工学会の会員 1,000 円（資料代のみ）、協賛団体の会員 1,000 円（資料代のみ）、反応工学部会の部会法人会員・法人賛助会員（反応分離分科会 3 名、その他の分科会 1 名）無料、その他 10,000 円、技術交流会参加者は上記金額にプラス 3,000 円（学生 1,000 円）

【問合せ先】大阪大学 廣田雄一郎（06-6850-6257、yhirota@cheng.es.osaka-u.ac.jp）

【申込方法および申込先】

E-mail にて、氏名、所属（所属研究機関名および会員の有無）、技術交流会の参加希望を明記の上、下記までお申し込み下さい。

締切は 11 月 8 日（木）とします。

大阪大学 廣田雄一郎（06-6850-6257、yhirota@cheng.es.osaka-u.ac.jp）